



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 肥後技研株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則や各規程等において、雇用をはじめ、あらゆる条件で差別のない仕組みであり、代表者が積極的に相談に参画している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・建設業の最優先事項であり、就業規則の雇入教育や安全運転管理者の規程、現場ごとの施工計画書やリスクアセスメントによるリスク特定・評価・対策や安全衛生協議会の編成、毎月の安全講習会と店社パトロール、日々の危険予知活動、等をはじめ、あらゆる対策を講じている			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・中小企業におけるパートタイム労働法・労働契約法等の改正に伴い、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応を行っている					5.5				8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・働き方改革関連法よりも前から、36協定の時間外労働の限度時間を、上限規制よりもかなり短い時間としている ・終業時刻の厳守、休日や遅出早退への柔軟な対応、ボランティア活動等に、代表者が率先して範を示し、積極的に推奨している			3		5.5				8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・就業規則に職務に応じた資格手当を規定し取得や更新を推奨している ・ほか各種研修等の参加、費用補助金申請手続き、CPDS(学習履歴証明システム)、CCUS(建設キャリアアップシステム)登録にも積極的に取り組んでいる				4	5.5				8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・ヘルスター健康宣言に参加し、ヘルスター認定2021(県協会けんぽ)を取得 ・協会けんぽ健康づくりセミナーや特定保健指導に積極的に取り組んでいる			3						8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則の規定に、人種、年齢、性別、障がいの程度などによる差別的待遇はない ・定年はあるが、本人の意思、能力、健康状態に応じ新たに雇用できる規定がある				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・「テレワーク勤務規程」を制定している ・事務室ではマスクをして対面配置を避け間隔を広くとり換気を徹底している ・社外訪問や遠距離移動は必要最小限とし、電話やメールを活用している ・研修等への参加は、ウェブ会議方式を選択している			3						8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ICT建機、ICT施工の研修に積極的に参加し、採用を検討 ・電子入札、工事完成図書電子納品、施工期間中の情報交換共有システムの活用などをはじめ、全業務でデジタル化やオンライン化を推進している									8	9.1		11	12						
	21	【ブライ企業】 ・ブライ企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 肥後技研株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・エコアクション21認証取得 ・環境年度ごとに「環境法遵守チェックリスト」「緊急事態一覧表」により 予め想定される事態を把握、確認しなおし、その対策と訓練を記録して いる ・外部からの苦情に備え、受付記録体制や即時処理の手順を整備して いる ・環境教育訓練は、定期実施に加え、必要に応じ随時実施している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に 取り組んでいる。	●		・環境年度ごとに負荷と取り組みのチェックシートによりエネルギー等 の負荷実績を把握・判定し、短期・中長期目標を設定している ・半期ごとに具体的取り組み内容を判定し、次期計画策定に活用してい る							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	●		・事業活動温暖化対策とエコ通勤環境配慮の計画書と実施状況報告書 を県に提出している ・各エネルギーごとの使用量をEA21の計算シートにより環境年度ごと に算出し、削減の対策や方針策定に活用している ・電気は電灯や電力など各契約ごとでも把握し、AC等各機器の使用法 改善やライトダウンに取り組んでいる ・社用車の5割をHV車としている			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう に配慮している。	●		・作業所や現場に、油水分離槽の設置、油吸着分解材や毒性流出油処 理剤を常備するなど環境保全に配慮している ・六価クロム溶出試験等、必要に応じて安全性を確認している						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、 再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・印刷前に強制的にプレビューを表示する設定にして、失敗を抑制 ・FAXのペーパーレス化、裏紙での再使用を推進している ・現場から排出する産業廃棄物の再生資源化率目標100%と分別の徹 底に取り組んでいる											9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・熊本市上下水道局料金課から節水コマを入手し事務所や作業所の蛇 口に取り付けている ・事務所や作業所の蛇口に「節水」ステッカーを貼り付け、意識向上に努 めている ・毎年、使用量を把握、次期目標と具体的取り組み内容を計画・設定、 さらに半期ごとの判定・改善を継続している			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グ リーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入法適合品やエコマーク認定商品、森林認証や再生紙、排 出ガス対策型建設機械等の環境に配慮した製品、資機材を優先調達し ている												9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●				1	2			6.4								12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●		・阿蘇市ASO環境共生基金、熊本市電緑のじゅうたんサポーター制度 の趣旨に賛同し、支援している ・くまもとグリーン農業の応援宣言をしている ・事務所の植栽と鉢植え、作業所の壁面緑化に取り組んでいる													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可 能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●		・蛍光灯や電球のLED照明への交換を推進している								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを 推進している。		●		・熊本県産材、FSC森林認証製品を優先調達している						6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●		・阿蘇市ASO環境共生基金の趣旨に賛同し支援している						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚 染の防止削減に貢献している。		●		・包装容器等の使い捨てプラスチック製品の使用を削減して、海洋汚染 対策に取り組んでいる														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車 などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		・エコ通勤環境配慮の計画書と実施状況報告書を提出している ・社用車の5割をHV車としている ・出発前に目的地までのルートと交通情報を確認し合理的手段を選択 している ・不要な荷物を積み込まないようにしている ・複数人の車移動は乗り合わせを推奨している ・現場搬出入資機材の過積載防止確認を行っている											9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組ん でいる。		●		・毎年CO2排出量を把握・判定し、短期・中長期目標を設定し、具体的 取り組み内容を改善して計画的に削減に取り組んでいる													7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2

